

植物群落(複合)

カテゴリ変更及び理由【植物群落(複合)】

群 落 名	旧 群 落 名	宮城県RL 2021	宮城県RDB 2016	変更	カテゴリ変更の主な理由
栗駒山の自然植生		2	3	変更	入山者の増加に伴って、亜高山帯域の登山道とその近隣地で植生荒廃が顕在化していたが、保全活動が功を奏して回復過程にあるため。
難波の落葉広葉樹林		3	2	変更	ナラ枯れ病による枯損木とイノシシによる掘り起し跡が確認された。今後、林床植生や後継樹の減少による群落の荒廃が懸念されるため。
世界谷地湿原の植物群落		4	3	変更	第二湿原を中心に、木道の付け替え工事で植生・泥炭層が損傷したため。進行中の修復・復元対策は、長期にわたって順応的に実施すべきであろう。
明光沢の池沼植物群落		3	4	変更	農業用溜池であるが水位は年間を通して安定しており、水生植物の生育環境が保たれているため。
商人沼の沼辺植物群落		3	2	変更	複数の希少な湿性・水性植物群落とそれらの成帯分布は存続するものの、明瞭な踏跡があつて、荒廃が懸念されるため。湖沼を囲む集水域内の森林施業に伴う水質の変化や濁水・土砂の流入にも留意が必要である。
化女沼の落葉広葉樹林		2	—	新規	当該地域の里地・里山を象徴する落葉広葉樹二次林として、貴重であるため。林床植生を中心に、適切な保護・管理を図る必要がある。
迫川河川敷の植物群落		3	—	新規	火入れによって維持されてきた草地およびその近隣の耕作地で、当該地域の里地を象徴する二次草地として貴重であるため。適切な保護・管理を図る必要がある。
若林区荒井大沼の池沼植物群落		3	—	新規	沖積平野内に残存する大沼と赤沼には、希少な水生植生が認められ、貴重であるため。水位変動や水質悪化による荒廃が懸念される。
黒森風穴の植物群落		4	—	新規	風穴植生がかろうじて残存し、貴重であるため。森林への遷移が進行している可能性があり、適切な保護・管理を図る必要がある。